

第9回 都市環境デザインフォーラム

「ニューノーマルにおける都市環境・都市設備の展望—DXの推進に注目して—」

日本建築学会 環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会では、都市環境・都市設備分野の研究成果や最新の知見を、建築や都市のデザインに活用することを目的として、2012年より「都市環境デザインフォーラム」を開催して広く議論できる機会を設けております。第9回目となる今回は、ニューノーマル（ポストコロナ）の変化が加速する時代において都市環境・都市設備に求められる役割とは何かを、都市のデジタル情報化（DX）の流れを踏まえ皆で考え、具体的な実践の方策や展望を総合的に議論します。

主催：環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会

後援：空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、都市環境エネルギー協会、日本都市計画学会（50音順）

日時/会場：2022年2月28日（月）14：00～17：30/オンライン zoom

プログラム

総合司会 原英嗣（国土館大学）

1. 開会挨拶・主旨説明 14：00～14：10

都市環境デザイン小委員会 主査・浅輪貴史（東京工業大学）

2. 基調講演 14：10～14：50

「デジタル社会における新たなまちづくりの方向性—Project PLATEAUの紹介」

内山裕弥（国土交通省 都市局 都市政策課）

3. 講演 14：50～16：10

1) デジタル技術やビッグデータを活用したまちづくり

関本義秀（東京大学）

2) 業務施設設備ストックの推計と業務部門二酸化炭素排出削減ポテンシャルの評価

山口容平（大阪大学）

3) 丸の内仲通りにおけるニューノーマルな街のあり方に関する社会実験

村上暁信（筑波大学）・中嶋利隆（三菱地所株式会社 開発推進部）

4) 各種センサーを使った人流データの取得とニューノーマルにおける活用可能性

有吉亮（横浜国立大学）

休憩 16：10～16：20

4. パネルディスカッション 16：20～17：20

「ニューノーマルにおける都市環境・都市設備の展望」

コーディネーター 都市環境・都市設備運営委員会 主査 吉田聡（横浜国立大学）

パネリスト 講演者（前掲）

暑熱適応検討小委員会 主査・三坂育正（日本工業大学）

ニューノーマルに対応した都市環境設備のあり方検討小委員会

主査・小柳秀光（北海学園大学）

5. まとめ 17：20～17：30

都市環境・都市設備運営委員会 前主査・宮崎ひろ志（関西大学）

以上

参加費： 会員1,200円、後援団体1,500円、会員外2,000円、学生1,000円

定員： 200名（申し込み先着順）

申込方法： Web申し込み 事前クレジット決済のみ（申し込み締め切り2月24日（木）13時まで）

→ <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=653535>

問合せ： 日本建築学会事務局 事業G 伊佐野 TEL：03-3456-2051 E-mail：isano@aij.or.jp

第9回 都市環境デザインフォーラム

オンライン参加にあたっての注意事項

★会員の方はお申込み時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方はお申込み時に入力したメールアドレス宛に、開催数日前にZoomの参加用URLをお送りします

- ①視聴にはPCやタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担となります。
- ②受信映像や講演資料の保存（画面キャプチャ、カメラ撮影等）、録音、再配布は禁止です。
- ③参加用URL等をシェアすることは固くお断りいたします。各人でお申し込みください。
- ④録画配信ではございませんので、開催後の視聴はできません。
- ⑤Zoomの使い方・動作環境についてのご質問にはお答えできません。Zoomのアプリケーションをご利用の場合は、最新版への更新をお願いします。Zoomヘルプセンター (<https://support.zoom.us/hc/ja>) をご参照ください。
- ⑥参加者の環境やそのときの回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。その場合は本会では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。